


3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

テーマ	「げんきなころ！げんきなからだ！」 ～健康な心と体を育む活動を通して～
<p>1 本園のESDでめざすもの</p> <p>(1) ESDのねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 健やかで、しなやかな心と体で身近な環境に喜んでかかわり、心を動かすような直接体験の中で、友達と試行錯誤や葛藤を積み重ねながら、共に伸びようとする幼児の育成 <p>(2) ESDで育てたい資質・能力</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 身近な環境を生かした 心動かす直接体験 </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 試行錯誤・葛藤・つまづき 直接体験の積み重ね </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> 「げんきなころ！」 「げんきなからだ！」 心と体の健康を推進し、 「生きる力」の育成をめざす </div> </div> <p>(3) 活動の評価の観点と方法</p> <p>(観点) ○幼児が身近な環境や自分の健康に興味や関心をもち、主体的に活動に取り組んでいるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動に取り組む中で、様々な人に親しみや愛着を感じながらかかわろうとする気持ちが育っているか。 ○体験したことを日々の生活や遊び等に生かし、幼児自らが発信者となって興味の幅を広げていくことができるか。 <p>(方法) ○幼児が友達と気づきや思いなどを伝え合える時間を設け、幼児の態度や意欲から個々の成長を見取り、教師間で共通理解していく。また、幼児の変容や課題を把握し、一つ一つの活動が関連性をもちながら展開されていくよう、配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域住民や近隣の幼稚園等との交流計画を立て、幼児が様々な人とのふれあいの中から、心地よさや楽しさ、自分が住む地域との違いなどについて気づいたり感じたりできるような内容を工夫していく。 ○「心と体の健康に関するアンケート調査」の実施やESDだよりの発行、クラス懇談会、個人面談、家庭教育学級等を通し、保護者に幼児の取組の様子や成長の姿などを伝えながら、幼児の心身の健康についての意識を高める。 	
<p>2 本園のESDの概要</p> <p>(1) 活動の内容</p> <p>①【活動1】「まごめだいすき！」(地域)～「知る」「つながる」～</p> <p><内容>・「おじいちゃん、おばあちゃんだいすき！」～地域高齢者との交流～ (地域老人クラブとの交流…干し柿づくり, 焼いも大会, そば打ち体験) (地域高齢者施設との交流…七夕交流会, クリスマス交流会) ・「まごめってステキだね！」～地域散策と“おさんぽマップ”作り～</p> <p><反省と考察></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域高齢者からの知恵や温かさ、優しさなどに触れ、交流の楽しさを味わえるようになり、高齢者に対する尊敬や思いやりの気持ちがふくらんだ。 ○園周辺の散策や地域高齢者との交流を通して、気づきや発見を友達や教師、家族と共有し合い、積極的に伝え合おうとする姿が見られるようになった。 ○苦労しながら皮むきをした干し柿が悪天候のため失敗してしまった経験を生かしながら、漬け物作りや切り干し大根作り等の活動に意欲的に取り組み、交流の余韻を味わう姿が見られた。 <div style="text-align: right;">  </div>	

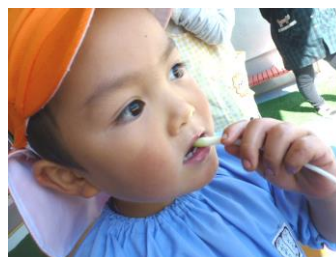
②【活動2】「たべるのだいすき！げんきッズ！」（食育）

～「育てる」「作る」「味わう」～

- ＜内容＞・「野菜を育てよう」～“ちびっこ畑”での栽培活動と他園との栽培交流～
・「野菜を食べよう」～栽培物の試食と調理法の相談～
・「作ってみよう」～クッキング体験～
・「げんきッズになろう」～心と体の健康に関する活動～

＜反省と考察＞（○…成果，△…課題）

- 種や苗から自分の手で育てた野菜を口にし、様々な食べ方で味わう経験の積み重ねにより、苦手意識のある野菜に挑戦する等の姿が見られるようになった。
- 幼児が自身の体験を家庭において積極的に伝える姿が増え、不足している栄養を親子で確認し合う等、保護者の意識にも変化が見られ、弁当に必ず野菜を入れるようになった。
- 食育絵本「たべるのだいすき！」の主人公に親しみをもち、普段の食事や行事内容にげんきッズ（4色の栄養）を意識して取り入れることで、一つ一つの経験がしっかりと結びつき、見通しをもって意欲的に取り組む姿へとつながった。
- 他園との栽培交流では、他園の友達に自分が種から育てた苗や野菜を贈ったり、自分が住む地域以外の友達と一緒に活動したりする機会を設けてきた。自分の頑張りが誰かの喜びにつながるうれしさや、他地域と馬籠との違いに気づいたりする姿が見られるようになってきた。
- △今年度は4～5歳児のみの在園であったため、園外への交流活動にも柔軟に対応できたが、来年度は新入園児が半数であることから、交流内容を再検討する必要がある。



（2）今年度、特に工夫改善したこと

○他園との交流（近隣の幼稚園及びユネスコスクール加盟園との交流）

より多くの友達とかかわり、様々な思いや考えがあることに気づいたり、他地域への興味や関心の幅を広げたりして欲しいという願いから、今年度は様々な交流活動を計画し、実施した。

- ・大谷幼稚園とのイチゴ狩り交流，ジャガイモの贈呈 など
- ・津谷幼稚園との一日体験交流，野菜苗の贈呈（オクラ，落花生），津谷幼稚園児が育てた白菜と人参を使った豚汁パーティー，IP電話による交流 など
- ・小泉幼稚園との合同園外保育（親子交流），プール交流，野菜苗の贈呈（オクラ），トマト狩り交流 など
- ・唐桑幼稚園（ユネスコ加盟園）との作品交流（「まごめはこんなところだよ！」～畑の活動や馬籠のいいところを紹介～），唐桑幼稚園年長児の手作り絵本「ばばのはま」の借用 など

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）